

# 函館 チェスクラブ 会報

## 15号

### Contents

将棋トッププロ1分2敗  
対コンピュータにドロ  
新人アクスの鮮烈デビュー  
チェスのワールドカップ  
チェス・オリンピック開催  
今月のゲーム

### 注目

< 11月9日12時~ロシアまつり >

発行日：平成14年11月18日

発行元：函館チェスクラブ

代表：高佐一義

電話：0138-50-2558

編集：山田 明弘

Eメール chess@mbj.nifty.com

ホームページ：川越 敏司

www.fun.ac.jp/~kawagoe/chess/

## 将棋トッププロ1分2敗



(左から羽生、森内、佐藤、ロチエ)

10月20日、東京にて、GMロチエに対し、将棋のトッププロ、羽生3冠、森内名人、佐藤2冠の3人によるチェス同時対局が行われ、世界中で注目を集めました。また、この模様はNECの提供で4時間にわたってインターネット中継(まるでテレビ中継!)されました。結果はGMロチエの2勝1引分。3戦ともGMの力と挑戦者たちの力が正面からぶつかった見ごたえのある内容でした。(棋譜参照)



(森内名人に苦戦のGMロチエ)

特に森内戦は一進一退。後半は森内に勝機がある展開に会場は沸きました。しかし、最後に1対1の対決となり、本気になった

ロチエが勝負手を放ち、引き分けに持ち込みました。「負けていた」と局後ロチエが語ったゲーム内容に森内名人は満足そうでした。羽生3冠は、「残念だったが、全力を出し切った」と局後語っています。

ロチエは、これに先立って20人の同時対局を指導しており、20戦全勝して現役プロの貫禄を示しています。

< 山田明弘のコメント >

以下、個人的な感想です。

敵の土俵の上で力いっぱい戦った将棋のプロたちの度量とチェスの力に、私は素直に感動しました。例えばチェスのプロが将棋で同じイベントができるか、同じ結果が出せるでしょうか。それを考えてみてください！ また、日本のチェス・イベントがこれほど内外に注目されたことにも驚き、うれしい思いをしました。日本チェス史に残るイベントであり、チェス普及の大きな後押しです。関係者に敬意を表します。

## 対コンピュータにドロ

バーレーンで行われていた人間対コンピュータのチェス世界王者対決は、10月19日の最終戦にて、クラムニックの2勝2敗4引分のドロに終わりました。

前号では「日本以外のジャーナリズムから大きな注目」と書きましたが、道新にも

写真付で記事が載りました。ご覧になった方も多いでしょう。前言訂正し、その記事を以下に引用します。

『冷静な「氷の男」も引き分けがやっと』

一昨年秋に師匠のカスパロフ氏を破って世界チャンピオンとなったクラムニック氏は、感情的な師匠とは違い「氷の男」の異名を取る冷静沈着なタイプ。師匠の雪辱を果たすには最適の「人類代表」とみられていたが、引き分けに持ち込むのがやっとだった。クラムニック氏は「疲れ果てた。勝つチャンスはあったが、奇妙な間違いを幾つか犯してしまった」と人間らしい感想を漏らした。

「ディープフリッツ」を開発したドイツのソフトウェア会社は「この対戦を分析すればさらに強くなる」と自身満々だった。

< 10月21日付道新記事より >



(GMクラムニック対ディープフリッツ)

棋譜(前号参照)を見ると、前半はGMの技が冴え、コンピュータに対して完璧な

指し直し。これは期待通り、人間側の圧勝かという展開でした。ところが後半、優勢な局面でとんでもないミスが続出。やや優勢だった最終局さえ早々とドローにしたクラムニックに対して批判があがったのは当然ですが、彼が何か精神的に変調をきたしていたことは確かです。コンピュータとの対戦は人間を狂わせる何かがあるのでしょうか。

とにかく、「チェスではコンピュータの方が人間より強い」という結果はこれで否定されました。次のカスパロフ対コンピュータ戦が楽しみになったと言えます。

## 新人アクスの鮮烈デビュー

10月20日まで、注目されるGM4人がトーナメントを行いました。優勝したのは最低レイティングで、前半戦は勝てなかったGMアクス。大番狂わせでした。



(左がJ・ポルガー、右がアクス)

アクスは会報7号でご紹介したジュニア世界チャンピオンです。そのとき決勝戦で中国の天才少年ブー(記録上、当時の最年少GM)に対し、独創的な技の冴えを見せ、「未来の世界チャンピオン候補」と掲載しました。後半は積極的に攻め、特に最終回に強豪GMを黒番で粉砕したゲームは見事(棋譜参照)です。同郷のJ・ポルガーの活躍がかすんでしまったのは残念ですが仕方ないことでしょう。

- 1位 3.0 アクス(ハンガリー)  
ジュニア世界チャンピオン
- 2位 2.0 J・ポルガー(ハンガリー)  
レイティング女子世界1
- 3位 2.0 ハリフマン(ロシア)  
元FIDE世界チャンピオン
- 4位 1.0 ヴァン・ウェリー(オランダ)  
オランダ1位

## チェスのワールドカップ

10月23日まで、インドのハイデラバードで開催されたチェスのワールドカップは、男子女子とも前チャンピオンの2連覇となりました。

決勝戦に勝ったのは、男子アナンド(インド)、女子はシュー・ユファ(中国)。アナンドのコメント「すばらしいトーナ

メントでした。彼(決勝の相手カシミジャノフ)がペトロフ・ディフェンスを採用したのは少し驚きました。」シューのコメント「結果に満足です。インドは落ち着いた雰囲気自分の国にいるようでした。」



(左アナンド 右シューのVサイン)  
カスパロフ、クラムニックは不在でしたが、ショート(イギリス)、モロゼビッチ(ロシア)など強い選手がいる中でアナンド優勝はさすがです。

中国女子選手はシュー・ユファの他にも、世界チャンピオンのズー、前チャンピオンのシェーと、とにかく層が厚くて名前も区別しにくく、誰が誰か識別するのが大変です。中国では独自の中国将棋(象棋)が盛んですが、その国による「チェス世界制覇」に近いかもしれません。

## チェス・オリンピック開催

イタリアの北、オーストリアの南にあるスロベニアは山並みと湖の美しい静かな国です。そこはまた、世界的なチェス・イベントが開催されてきた国でもあります。

10月25日からスロベニアの町ブレッドでチェス・オリンピックが始まりました。

141カ国、2200人の参加者!

チェス・オリンピックによってイラクとアメリカ、アラブ諸国とイスラエルが一堂に会します。欧米だけでなく、アジア、アフリカからも多くの国が参加する大イベント。直前にアフガニスタンが参加できなくなったことは残念ですが、今の国際情勢を考えれば信じられない夢の大会です。「人類はひとつ」というFIDE標語が絵に描いた餅でないことがわかりでしょう。日本のジャーナリストはなぜ注目しないのでしょうか。



(オリンピック開会式)

日本チームのメンバーです。

渡井美代子(団長)

ルイセンコ(コーチ)

権田源太郎・加藤剛史・南條遼介・岩崎雄

大・山岸智彦・浜根謙一(男子チーム)

渡井美代子・中川笑子・松尾朱美・鶴岡聖

未(女子チーム)

どのような経緯でこのメンバーが人選

されたのかは不明ですが、国の代表として全力を出して欲しいと思います。

続報と試合の様子は次号でお知らせします。

## 今月のゲーム

記号：

K = キング、Q = クイーン、B = ビショップ、N = ナイト、!! = 妙手、! = 好手、? = 疑問手、?? = 大悪手、# = メイト。

以下解説は山田明弘 + フリッツ 4

白：羽生 3 冠

黒：GM ロチエ

[ECO "B33"]

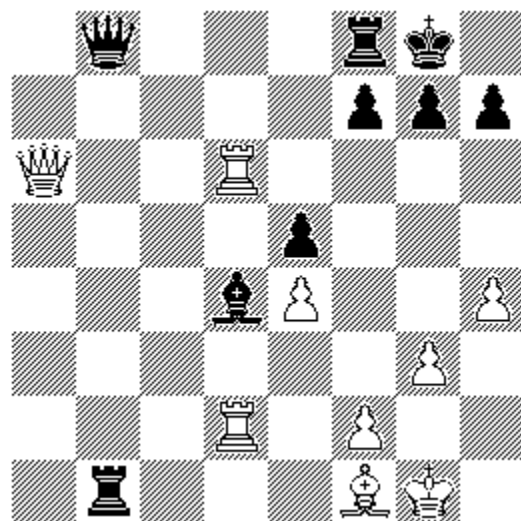
シシリアン・ラスカー・ペリカン定跡  
(チェリヤピンスク戦法)

1. e4 c5 2. Nf3 Nc6
3. d4 cxd4 4. Nxd4 Nf6
5. Nc3 e5 6. Ndb5 d6
7. Bg5 a6 8. Na3 b5

黒はd5にポーンの穴をつくり、形を悪くしているが、見返りにツービショップと活発な展開を得る。白黒どちらにとっても難しいペリカン定跡。

9. Nd5 Be7 10. Bxf6 Bxf6
11. c3 O-O 12. Nc2 Rb8
13. h4 ! Be7 14. Nce3 Be6
15. g3 Qd7 16. Bg2 Bd8 !

17. Qe2 Ne7 18. Rd1 a5
19. a3 b4 20. axb4 Bxd5
21. Nxd5 Nxd5 22. Rxd5 axb4
23. O-O bxc3 24. bxc3 Qc6
25. Rfd1 Qxc3 26. Rxd6 Bb6
27. Qd2 Qa3 28. Qd3 Qa7
29. Rd2 Bd4 30. Qa6 Rb1+
31. Bf1 Qb8 (図)



(羽生 vs. ロチエ 白番 黒の狙いは?)

32. Kg2? Ra1 !

ロチエのビショップが羽生のビショップより働いている。白32手 Kg2 はピンをかわした筋の良い手。しかしこれが敗着だからチェスは難しい。d6 ルークとe4ポーンの浮きが致命傷。ここは白 Rd7 , 白 Rc6 などが正解だった。このあと黒が優位に立つ。

33. Qc6 Qb1 !

強烈。白はBd3とポーンを守りたいが、それではQh1#で早死に。

34. Qc4 Qxe4+
35. Kg1 Qf3 36. Qd3 Qxd3
37. Rxd3 Ra2 !

38. R3xd4 ! exd4

これは精一杯。白38. Rf3では黒e4!でルークの逃げ場がなくなるから。以下白39. Rf5なら黒g6だし、白39. Rf4なら黒Be5。ここまで両者とも読んでいる。

39. Rxd4 Ra5 40. Rd7 Rc5
  41. Bg2 g6 42. Bd5 Kg7
  43. g4 Rcc8 44. Kg2 ? Rcd8 !
  45. Rxd8 Rxd8 46. Be4 Rd4
  47. Kf3 h6 48. Kf4 Rb4
  49. f3 Rb2 50. Bd5 Rh2
  51. Kg3 Rd2 52. Bc4 g5
  53. hxg5 hxg5 54. Bb3 Kf6
  55. Bc4 Ke7 56. Bb3 f6
  57. Bg8 Kd6 58. Bc4 Ke5
  59. Ba6 Rb2 60. Bc4 Kd4
  61. Ba6 Ke3 62. Bc4 Rb1
  63. Bd5 Rg1+ 64. Kh2 Kf2
  65. Bb7 Rb1 66. Ba8 Rb8
- O-1

ルークは盤上どこへでも行けて単独でメイトにできる駒。ビショップは盤面半分しか行けず、メイトできない駒。この差は致命的。白の投了以後、白はビショップを取られるか、Ra8#のメイトになるか。

白：森内名人

黒：GM ロチエ

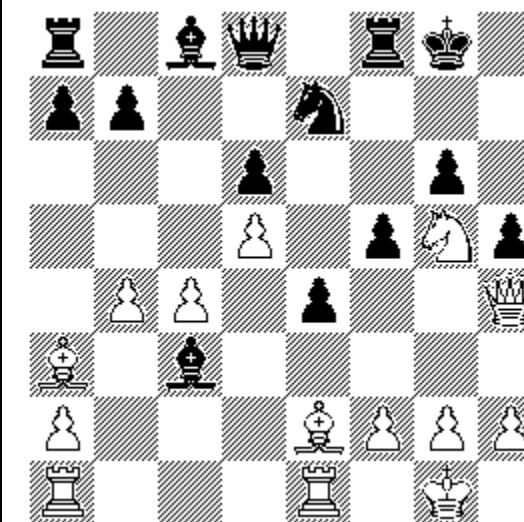
[ECO "E90"]

キングズインディアン・クラシカル定跡

1. d4 Nf6 2. c4 g6
3. Nc3 Bg7 4. e4 d6
5. Nf3 O-O 6. Be2 e5
7. O-O Nc6 8. d5 Ne7
9. b4 Nh5 10. Re1 f5
11. Ng5 Nf6 12. Bf3 c6
13. Ba3? cxd5 ! 14. exd5 e4 !

Bb2と弱点を補強する方が良かった。森内名人の攻めで形勢不明。

15. Be2 Nh5 16. Qd2 Nf4 !
17. Qxf4 ! Bxc3 18. Qh4 h5



19. Bxh5 ! Kg7 !

GMロチエが狙っていたB捨て。このBを取ると、白Qxh5で、Qh7#が受からない。

GMロチエの読みを上回る森内名人の絶妙の受け。次にRh8の反撃あり。



手に汗握る大乱戦に突入。

20. Qg3 Bf6

なぜ黒 Bxa1 としないのかというと「a1～h8の斜線」を完全に取られるから。白 21.Rxa1 と取り返した後、Bb2 で黒は受けが難しい。複雑な局面でGMと互角に渡り合っている森内名人の才能には驚くばかりだ。

21. f4 ! exf3 22. Nxf3 Kh8 ?

23. Rxe7 Qxe7

単純に白 B x g 6、黒 Q x g 6、白 Q x g 6 で白優勢か。

24. Qxg6 ? f4

f4 ではなく黒 Qe3+, 白 Kh1, 黒 Bxa1 で黒勝勢のチャンスだった。

25. Re1 Bf5 ! 26. Qh6+ Qh7

Bを取れば、26.Qxf5, Qxe1!, 27. Nxe1, Bd4+により Rxf5。

27. Qxh7+ Kxh7 28. Bc1 Rfc8

29. Bxf4 Rxc4 30. Bxd6 Re4 !

31. Rf1 Rd8 32. Bc5 Rxd5

白 32.Be5 (狙い Ng5+) で優勢だった。ここから黒が主導権を取る。日本将棋プロの読みの力はすばらしい!

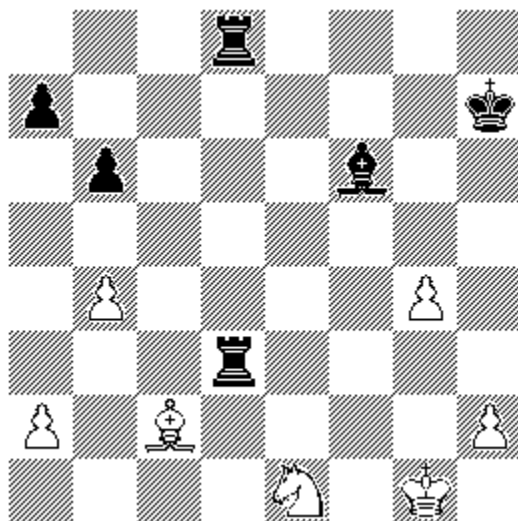
33. Bf7 Rd7 34. Bb3 b6

35. Bf8 Re8 36. g4 ! Bd3 ?

ロチエの勝負手。普通上手は指導対局のときずるい手を指すことはないが、負けそうな局面に余裕はない。惜しい。取ると Bc2+ がありそうなので Bd3 としてしまいたくなる。しかし、Bxg4 で黒が完全に優勢だった。

37. Rd1 Rxf8 38. Rxd3 ! Rxd3

39. Bc2 Rfd8 40. Ne1 (図)



(最終図)

1/2-1/2

以下 41.... R8d4 ! 42. h3 Rxb4 43. Nxd3 が予想され、まだ結論が出ない局面だが、下手にこれだけやられたゲームを勝ちにいくのは上手として恥ずかしい。ドローは当然だろう。

白：佐藤 2 冠

黒：GMロチエ

[ECO "B30"]

ニムゾインディアン・クラシカル

1. d4 Nf6 2. c4 e6

3. Nc3 Bb4 4. e3 O-O

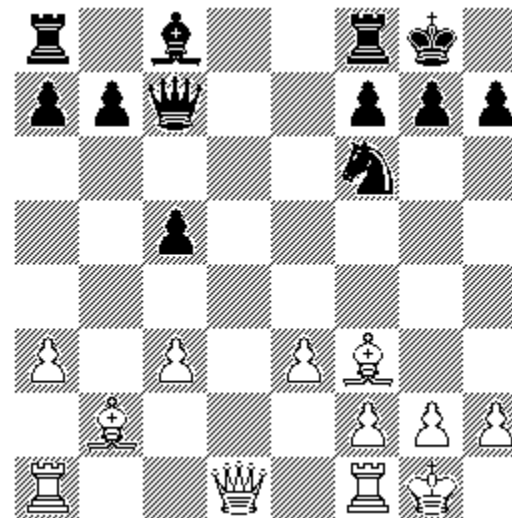
5. Bd3 d5 6. Nf3 c5

7. O-O Nc6 8. a3 Bxc3

9. bxc3 Qc7 10. Bb2 dxc4

11. Bxc4 e5 12. dxe5 ? Nxe5

13. Be2 Nxf3+ 14. Bxf3 (図)



(参考になる 黒次の一手)

14. ... c4 !!

弱点は b3, d3。白の黒マスBの動きを制限するチェスの奥義。黒やや優勢。

15. Re1 Be6 16. Qc2 Nd7 !

17. Rad1 Nc5 18. Rd4 Nb3

19. Rh4 ? h6 20. Bc1 Rad8

21. e4 Rd3 22. Be2 Rfd8 !

もちろんRは取れない。23.Bxd3 なら cxd3 24. Qb2 d2 で両取り。ここでは黒が押さえ込みに成功、白はなすすべなく、決め手を待つばかり。

23. g4 Qe7 24. Rh5 Rd2 ! (決め手)

25. Bxd2 Rxd2 26. Qb1 Rxe2

27. Rxe2 Bxg4 (駒損)

O-1

エッセン・トーナメント6ラウンド

白：GMヴァン・ウェリー (オランダ)

黒：GMアクス (ハンガリー)

[ECO "E48"]

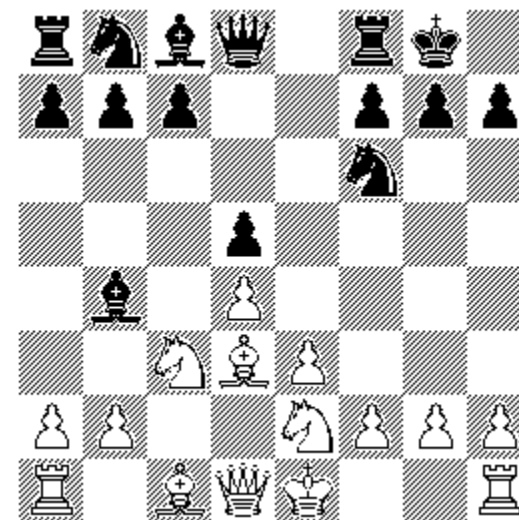
ニムゾ・インディアン

1. d4 Nf6 2. c4 e6

3. Nc3 Bb4 4. e3 O-O

5. Bd3 d5 6. cxd5 exd5

7. Nge2 (図)



(黒の次の一手が新工夫)

7. ... Re8 !

8. O-O Bd6 !

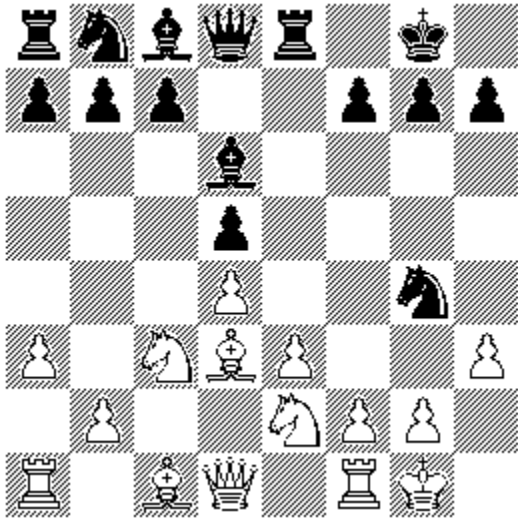
9. a3 ? Ng4 !

普通はc5からNc6が定跡。

Re8からBd6の形は新手。ここで白にNb5と白Bをねらう手がありそうだが、黒Be7くらいでも、次のc6が先手となり、大丈夫。

アクスの奇襲。白が危険を察知していればこのN跳ねを防いだらう。白10.h3と追うのは当然の反応だが...

10. h3 ? (図)



(黒 次の一手は信じられない妙手)

10. ... Nh2 !!

大悪手? Nが動けない。しかし黒はもっと先を読んでいて、白キングの守りを崩す方法は参考になる。ここからが芸術。

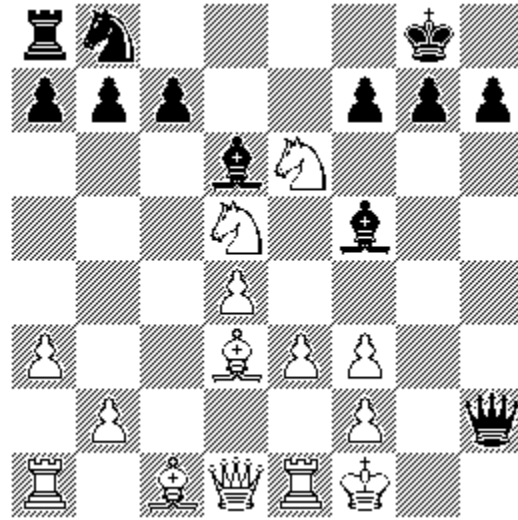
11. Re1 Nf3+ ! 12. gxf3 Qg5+

13. Kh1 Qh4 ! 14. Nf4 Bxh3

ここは14. Kg1 !が最後のチャンスだった。以下、黒Bxh3に15. f4! Bg4 16. Qb3 Bf3 17. Ng3 Bxf4 18. Nce2! ...と粘れた。

15. Ncxd5 Re6 ! 16. Nxe6 Bf5+ !

17. Kg1 Qh2+ 18. Kf1 (図)



(黒 次の一手が決め手)

18. ... Bg3 !! O-1

美しい最後の決め手。ねらいは Qxf2 メイトだが、それを防ぐ手がなにもない。白 Rf2 は黒 Qh1#。白 Qc2 なら黒 Bxd3+, 白 Qxd3, 黒 Qxf2#。そして白 fxg3 と取るのも黒 Bh3#。このような短手数で、しかも白番を持った現役 GM がやられるのは珍しい。

## 編集後記

今回は自分のために作成したようなものです。すみません。

ロシアまつりは11月9日(土)12時からです。全員集合!

(山田明弘)